

2019年度 事業概況報告

自:2019年4月1日 至:2020年3月31日

1. 衛生及び品質の向上について

1-1. 食品衛生、品質管理技術の向上について

(1) 検査技術研修会の実施

- ①アイスクリームの成分、微生物の検査法を習得する「検査技術研修会」を開催(12月、2月)し、会員の製品検査技術の向上を図った。プログラムには事例研究のグループワークを含めた品質講話も入れ、受講者の品質意識向上にも努めた。

(2019年12月11~13日 9名、2020年2月12~14日 6名)



<成分検査研修>



<微生物検査研修>



<概要説明、品質講話>

- ②微生物の技能比較試験の実施については応募事業者が少なく、協会単独での実施は中止とし、応募事業者には検査機関の実施する技能比較試験を紹介した。
- ③関連団体等の研修会を案内して、会員企業の衛生品質の向上を側面支援した。

(2) 地区協会活動との連携

- ① 地区協会において講習会、施設見学会等に参画して、食品行政の進捗状況や他社の衛生品質レベルの学びの場を共有化した。



<東海アイス協会での講演>



<関東アイス協会見学会>

- ② 商品の品質確認、自主検査の精度を確認すべく、製品の細菌自主検査を実施した。

(3) 衛生功労者の表彰

昨年の選考委員会において、各地区から推薦された衛生功労者候補者 19 名の承認を受け、第 44 回アイスクリーム類製造業衛生功労者表彰式を 1 月 21 日に実施し、衛生・品質の向上に尽力された功績に報いるため、衛生功労者を表彰し、祝賀会を開催した。



(4) 技術委員会



「HACCP の考え方を取り入れた衛生管理」の手引書をワーキングチームにて作成し、厚労省の指導・修正を重ねる中で、昨年 12 月に承認に至った。内容については厚労省及び協会のホームページに掲載するとともに、農水省補助事業として 1,200 部の冊子を作成して、2020 年 2 月末までに配布した。

1-2. 表示の適正化推進について

- (1) 電子メール、電話等による問い合わせに対応し、表示に関する正しい情報を提供した。
- (2) 地区協会及び公正取引協議会共催による表示自主検査会（北海道、関東、東海、近畿 4 ヶ所）及び表示技術セミナー（東北、関東、中四国、九州 4 ヶ所）を開催し、表示の適正化に努めた。

2. 消費拡大、PR について

(1) アイスクリームフェスタの開催

「5 月 9 日アイスクリームの日」を中心に、下記 8 か所でアイスクリームのプレゼントを含むフェスタを実施、アイスクリーム王子や各社着ぐるみ大集合による記念撮影、じゃんけん大会ご当地アイドル等の出演で、イベントを盛り上げた。（配布数 約 21 千個）

アイスクリームフェスタ2019

	日程	エリア	配布数	イベント会場
1	5/6(月)	東海	3,000	名古屋市:ナナちゃん人形前
2	5/9(水)	北海道	1,400	札幌市:地下歩行空間北3条交差点広場
3	5/9(水)	東北	2,000	仙台市:ぶらんどーむ一番町商店街
4	5/9(水)	北陸	1,800	金沢市:めいてつエムザ前、大和百貨店催事場
5	5/9(水)	九州	2,500	福岡市:三越ライオン広場
6	5/11(土)	関東	4,000	世田谷区:二子玉川ライズ ガレリア
7	5/11(土)	近畿	4,000	吹田市:ららぽーとエキスポシティ 光の広場
8	5/18(土)	中四国	2,500	広島市:紙屋町シャレオ地下中央広場



北海道協会



中四国協会



関東協会



近畿協会

(2) ウェブコミュニケーションの活用

①協会 SNS にて、アイスクリームに関連した様々な情報を発信・拡散させ、アイスクリームファンを獲得した。

<キャンペーン告知の一部>



② ホームページキャンペーン

四季に合わせ年間4回「キャンペーン」を実施しており、特に秋に実施した「写真投稿キャンペーン」は前年の約3倍となる2,764件の応募があった。



春:アイス愛をつぶやいて



夏:夏休み宿題全力応援



冬:全国アイスクリーム中継



秋:アイスな瞬間の写真投稿



最優秀賞



ファミリー部門賞



オトナ部門賞



アイスビジュアル部門賞

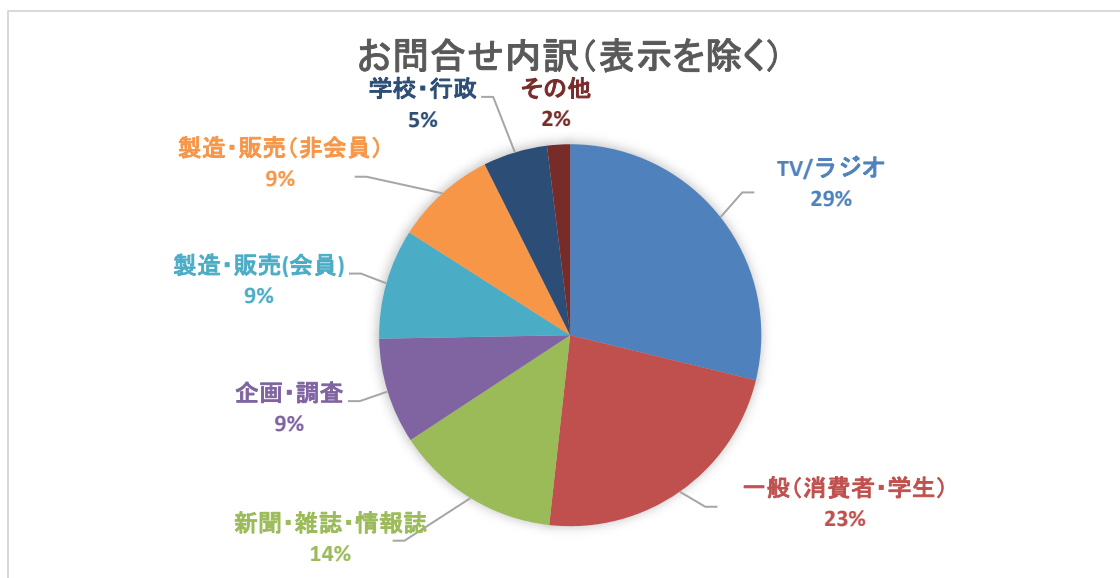
3. 知識の普及・PRについて

(1) お客様、マスコミなどからの問い合わせ、取材への対応

2019年度のお問い合わせは257件(前年比121.8%)で、メディア関連(TV/ラジオ&新聞等)は43%と、前年より22件増加した。問合せ内容も販売実績、白書、日本昔話、金沢調査を含む家計調査、SNSキャンペーン、賞味期限等多岐にわたっていたが、2018年度のホームページ改修と同時に、コンテンツが充実してきたことも一因と考える。

また、一般(消費者・学生)ではキャンペーンやフェスタに関して問い合わせが多かった。

会員企業 1 社が 1 月下旬に賞味期限記載について発表したことで、賞味期限のお問合せ昨年 1 件に対しての 2019 年度は 12 件となったが、メディアからの質問は 4 件のみであった。



(2) アイスクリューニュース(機関紙)の発行

No265-267 号の 3 回発行し、会員への協会活動内容の報告と必要な情報提供に努めた。

(3) 各種統計資料の作成とポイント

① 2018 年度アイスクリュー類及び氷菓販売実績

(ホームページ 2019 年 6 月 19 日アップ、アイスクリューニュース No.266 掲載)

- ・2018 年度アイスクリュー販売金額 5,186 億円(メーカー出荷額ベース)
- ・7 年連続の市場伸長で、5,000 億円超えは 2 年連続
- ・物量では 1994 年の猛暑以来の 90 万kℓ超え=リッター単価低下

② アイスクリュー白書 2019

(ホームページ 2019 年 12 月 27 日アップ、アイスクリューニュース No.268 掲載)

- ・アイスクリューはキングオブスイーツで不動の 1 位
- ・アイスクリューを美味しいと感じるのは 25~30℃
- ・アイスクリューの消費が増えたと思う率が 4 割超え(他のスイーツからのスイッチ購買?)

③ 家計調査(2019 年 1~12 月)

(ホームページ 2020 年 3 月 13 日アップ、アイスクリューニュース No.268 掲載)

- ・食料品支出の 1%がアイスクリューへの支出金額
- ・シニア層のアイスクリュー消費拡大
- ・都市別支出金額で金沢市が首位奪還

④輸出入統計(2019年1~12月):財務省貿易統計より

(ホームページ 2020年2月21日アップ、アイスクリーニュース No.268 掲載)

- ・2019年は物量ベースで、初めて輸出が輸入を逆転
- ・輸出国は台湾、中国、香港の3カ国で58.1%、輸入国はニュージーランドが54.6%

(4) 講演会の開催

(第45回アイスクリームセミナー:9月24日)

会員出席人数:130名

(概要はアイスクリーニュース No.268 掲載)

●「勝負脳の磨き方~可能性への挑戦~」

NHK相撲解説者(元 小結)舞の海秀平 氏

●「食品衛生をめぐる最近の動向について」

厚生労働省 医薬・生活衛生局 食品監視安全課 課長補佐 田中 鈴子 氏



4. 環境に関する取組みについて

(1) 2018年度のプラスチック製容器包装排出量&製品生産実績を会員からのデータをもとに集計し、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会に9月に報告した。

(2)プラ推進協の2019年度第1回「3R推進セミナー」(12月19日)に参画したが、今後とも環境問題の関心の高まりを受け、会員に必要な情報提供を継続していく。

5. 社会貢献活動について

「5月9日アイスクリームの日」を中心に地区協会より社会福祉施設にアイスクリームの寄贈を行った。寄贈施設及び寄贈数は367施設、37,437個。

6. その他

(1) 総会、各種会議の開催

- ① 理事会(6月4日、1月21日)
- ② 定時総会(6月4日)
- ③ 衛生功労者表彰選考委員会(12月5日)
- ④ 第44回衛生功労者表彰式・祝賀会(1月21日)
- ⑤ 全国事務局長会議開催(7月5日、11月28日)
- ⑥ 消費拡大委員会(6月20日、11月12日、2月14日予定)
- ⑦ SNS担当者会議(4月8日、11月21日)

(2) 地区協会総会出席

北海道協会(4月16日)、東北協会(4月17日)、関東協会(4月16日)、
東海協会(4月23日)、近畿協会(5月16日)、中四国協会(4月24日)、
九州協会(4月9日)

(3) 東海アイス協会勉強会での講演(6月25日)

(4) 厚生労働省主催 HACCP 手引書の技術検討会(6月28日非公開、9月27日公開)

以上

(追記)新型コロナウイルス感染症への対応について

厚生労働省、農林水産省、消費者庁、他関係団体からの新型コロナウイルス感染症に関する情報提供を受け、協会会員に情報をメール配信して迅速な共有化に努めた。また、協会内でも時差を設けての出退勤、在宅勤務により感染防止に努めた。